

真珠腫性中耳炎

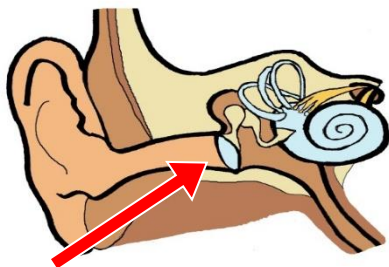


子ども達に「勇氣、夢として笑顔」を

真珠腫性中耳炎とは

鼓膜が陥没して袋状になった部分に耳だれや耳あかが溜まり、真珠のようなかたまり（真珠腫）を形成します

その真珠腫が広がり、周囲の組織を破壊して、聴覚障害やめまい、顔面神経麻痺を引き起します



鼓膜



正常鼓膜



後天性真珠腫



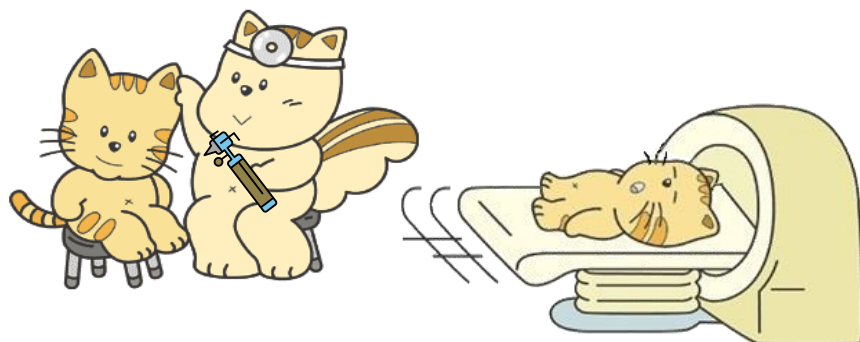
先天性真珠腫

症状

1. 痛みを伴わない悪臭のある耳だれ
2. 難聴
3. めまい
4. 耳鳴り
5. 顔面神経麻痺

診断には

鼓膜の診察や聴力検査、CT 検査が必要です



治療

手術により形成した真珠腫を取り除くことが必要です。全身麻酔で行いますので、5日程度の入院が必要です。真珠腫の大きさによって半年間程度の間隔で2回に分けて手術することがあります。



普段から悪臭のある耳だれなどの
初期症状には注意してあげてください。



地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<耳鼻咽喉科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2022.8.改訂